

# 筋痛性脳脊髄炎/ 慢性疲労症候群とは

健康だった人が突然原因不明の激しい全身倦怠感におそわれる病気です。強度の疲労感とともに、微熱・頭痛・筋肉痛・脱力感・思考力の障害などが長期にわたって続くため、健全な社会生活が送れなくなります。

一般的な検査では異常がみつからず、発見や治療が遅れて重症化することがあります。

患者の約3割は寝たきりかそれに近い状態で介助が必要です。

こどもの場合は学校に行けなくなることもあり、学習面などでのサポートが必要です。

専門医がほとんどおらず、治療方法も確立していない難病です。

病気の深刻さを理解されずに苦しんでいる患者がいます。



## 知ってください 筋痛性脳脊髄炎 / 慢性疲労症候群

5月12日は「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群世界啓発デー」です

主催：ME/CFS AID Japan

後援：厚生労働省

枚方市・枚方市教育委員会・西宮市・西宮市教育委員会・日本疲労学会・星槎大学・日本福祉大学

※このポスターを啓発活動以外の目的に使用することを禁じます。

<http://mecfs-aid-japan.org/>

